

第 2 期「恵庭市強靱化計画」案について

1 趣 旨

現行の恵庭市強靱化計画の対象期間が令和 7 年度までであることから、令和 8 年度から令和 12 年度までを対象とした恵庭市強靱化計画を策定中であり、その案について報告するものです。尚、国は令和 5 年 7 月に国土強靱化基本計画を変更し、道は令和 7 年 3 月に令和 7 年度からの概ね 5 年間を対象とした第 3 期北海道強靱化計画を策定しています。

2 説明項目

- (1) 第 2 期「恵庭市強靱化計画」案の概要
- (2) 策定の経緯

3 第 2 期「恵庭市強靱化計画」素案の概要

(1) 計画の構成（現行計画から変化なし）

第 1 章 はじめに

第 2 章 恵庭市強靱化の基本的考え方

第 3 章 脆弱性評価

第 4 章 恵庭市強靱化のための施策プログラムの策定及び推進事業の設定

第 5 章 計画の推進管理

(2) 各章の記述内容（現行計画との変換事項等）

第 1 章 はじめに

計画策定の経緯として、国や道の計画見直しや現行計画策定以降の恵庭市の取組について言及（P 2）

第 2 章 恵庭市強靱化計画の基本的考え方

恵庭市強靱化の目標は変化無し。（P 4）

本計画の対象とするリスクについて、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震について言及したほか令和 4 年 2 月の大雪を追記（P 6）

第 3 章 脆弱性評価

リスクシナリオ「起きてはならない最悪の事態」について、道が項目の再整理等の見直しを実施したことから、道に倣って見直しを実施（リスクの内容については大きな変更なし～一部番号・用語・表現の修正有り）（P 9）

脆弱性評価の結果としては、主として能登半島地震の教訓を踏まえて、避難所の環境改善に関する事項を追記（P 11・19・21・30）

第4章 施策プログラムの策定及び推進事業の設定

脆弱性評価の結果を踏まえ、主に避難所の環境改善のための簡易ベッドやトイレ、プライバシー確保資材等備蓄品の充実や広域避難する際の手続き等の具体化に向けた取り組みについて追記（P 36・47・48・61）

第5章 計画の推進管理

施策プログラム実現のための予算確保に向けて道や国に働きかける旨を追記（P 67）

4 策定の経緯

(1) 令和7年12月8日

ア 恵庭市議会総務文教常任委員会において素案を報告

イ 議会報告後、関係機関等へ意見照会

以下の事項についてご意見をいただき、修正しました。

a 札幌管区気象台様

○過去の災害発生時期の具体的な記述及び数値の訂正について

○国の機関等が実施した最新の調査時期や結果について

b 千歳川河川事務所様

○千歳川流域の治水対策に関する記述要領について

(2) 令和8年1月15日～2月16日：素案に対するパブリックコメントを実施 意見等の提出は、ありませんでした。

(3) 令和8年2月16日～本日：最終案を作成し、恵庭市防災会議において報告

(4) 本日以降：庁内合議→理事者決裁→第2期恵庭市強靱化計画の完成